

# みらい

第60号

2026.春号



(写真提供：Nさん)

## 特集

◆大学全体で育む多様性への理解と  
学生主体の取組(和歌山信愛大学)

◆「デートDV」という  
ことばを知っていますか？

- ◆みらい相談室だより
- ◆講座報告
- ◆みらい図書室
- ◆男女共生推進センター “みらい”

# 一人ひとりを大切に

## 大学全体で育む多様性への理解と 学生主体の取組

今回は令和7年度「わかやまジェンダー平等推進アワード」を受賞された和歌山信愛大学の皆さんにお話を伺いました。

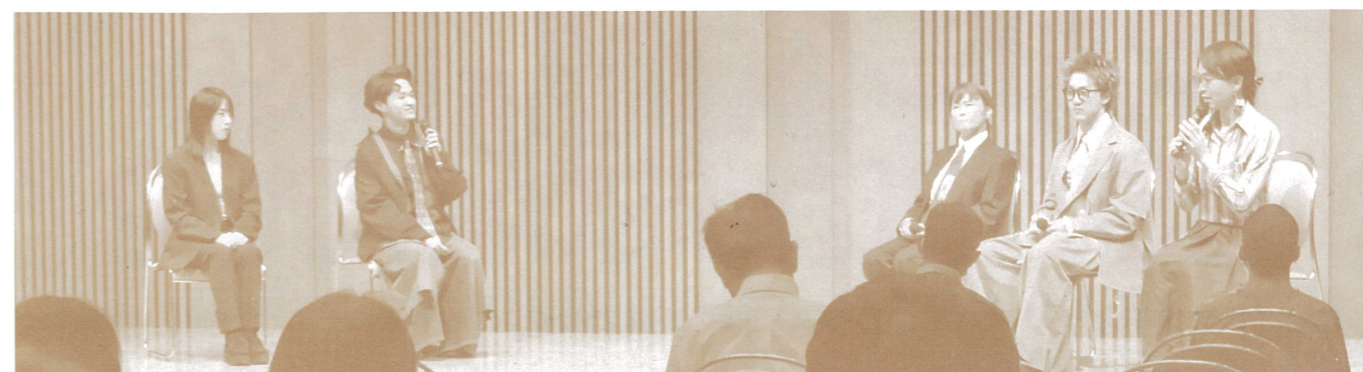
### ○今回、わかやまジェンダー平等推進アワードを受賞されましたが、どのような取組が評価されたのでしょうか。

私たちの大学には、将来こどもたちの教育に携わることを目標にした学生が多くいます。その中で、私たちはジェンダーに関する関心を喚起するため、人権啓発イベントを楽しみやすい雰囲気の中で、親しみやすい方法で実施することが必要であると考えました。その考えをもとにファッションショーの企画・運営をはじめとする多様性理解につながる取組を学生が主体となって行いました。

また、職員においても性の多様性に関する研修会の実施や、当事者への支援の方向性を計画するなど、大学全体で私たち学生の困りごとへのサポートの充実が図られています。

### ○ファッションショーは令和6年9月23日の人権啓発イベントの第1部として開催されましたが、どのようなコンセプトで開催されたのでしょうか。

私たちは、令和5年5月に公益財団法人和歌山県人権啓発センターから提案を受けて企画会議に参加してきました。その中で、性は男女2つではなく、グラデーションのように連続的・段階的に変化するという考えに基づき、性別二元論に基づく「男らしさ」「女らしさ」にとらわれない、自分の「好き」を表現できる場を作ろうと考えました。そこで、一人ひとりの「好き」を衣服に反映し、「自分の‘好き’を放とう」をテーマにファッションショーを開催しました。



### ○企画運営に取り組む中で、印象に残ったことはありますか。

当初、一般的に男性用・女性用として分けられているファッションを入れ替えてショーを行おうと計画を進めていました。しかし、あるメンバーが「それも結局、性を2つとして捉えていることになるのではないか」という意見を語ったことをきっかけに、「モデルの‘好き’を表現し、着たいファッションを身につける」という方向性に転換しました。

また、プライベートとして大学祭でもファッションショーを行いました。私たちが発信したメッセージが十分に伝わっていないことを痛感するような声がありました。性別にとらわれずに「好き」を表現するという私たちの意図とは異なり、性別固定観念に基づいた意識がまだまだ根深いものだと気づき、このような社会全般の見方が性的少数者の人々に苦痛を与えているのだと思いました。

### ○卒業生・先輩から後輩の皆さんに伝えたいことはありますか。

「わかやまジェンダー平等推進アワード」を受賞したことにより、ジェンダーギャップの解消、ジェンダー平等に向けた取組へ参加するきっかけ作りができたと考えていますので、次の世代を担う後輩たちがより積極的に多様性の理解に向けた情報発信をしてほしいと思います。



(表彰式の様子：前列左から和歌山信愛大学、宮崎和歌山県知事、トランスコスモス株式会社、株式会社アワーズ) ※敬称略

# 「デートDV」という ことばを知っていますか？

DV（ドメスティック・バイオレンス）は、配偶者や恋人、パートナーなど親しい関係にある人からの暴力です。

お付き合いしているのに、お互い対等の関係ではなく、一方が相手を自分の思うようにする（支配する）ことを「デートDV」といいます。

たとえば、こんなことはありませんか？

- 自分の意見を聞いてもらえない
- 友だちとの連絡や外出を制限される
- スマートフォンを勝手にチェックされる
- 無視されたり、傷つく言葉を言われる
- 嫌がっているのに体に触れられる

暴力は、殴る、蹴るだけではなくありません。言葉や態度、束縛も暴力になります。「これっておかしいのかな？」と感じたら、ひとりで抱え込まないことが大切です。大切なのは、お互いを尊重し合える関係であることです。

## 「デートDV防止講座」を行っています。

和歌山市では、学校や大学、地域団体などを対象にデートDVについて学ぶ出前講座を実施しています。

- デートDVとは何か
- 気づくためのポイント
- 自分や友だちを守るためにできること…

などをわかりやすくお伝えします。ご希望の方は、お気軽に男女共生推進センターまでご連絡ください。(☎073-436-8704)

### 受講者の声

暴力や殴ることだけだと思っていましたが、言葉や態度もDVになると知って驚きました。

自分も気づかないうちに加害者になるかもしれないと思いました。

お互いを尊重し合える関係の大切さを考えるきっかけになりました。

## みらい相談室だより

みらい相談室では、女性相談員による電話相談をお受けしています。

暮らしの中のさまざまな悩みや不安、ちょっと誰かに聞いてもらいたいことなど、ひとりで悩みを抱え込まず、話してみませんか？何かがかわるきっかけになるかもしれません。

このような相談があったら・・・。



これって  
DV...?

30代女性

夫のことで気持ちがしんどくて…。

叩かれることはないのですが、夫は私の言うことを全て否定するんです。「お前は頭が悪い」「そんなこともできないのか」と毎日のように言われ、私が言い返すと「お前のために言っている」「お前の考えが間違っている」と言われ、「私が悪いのかな」と思うようになって…。

夫は外では優しいんです。周りからは「良い旦那さんだね」と言われるので、誰にも相談できず、最近あまり眠れなくて、初めて相談室に電話をかけました。



よくお電話くださいましたね。

人格を否定する言葉を繰り返し向けられることは、精神的な暴力にあたります。

叩かれなくても、否定的な言葉を浴び続けることで「自分が悪い」と感じやすくなりますが、あなたが悪いわけではありません。

周囲からは良い夫に見えることで相談しづらいのも自然なことです。

ひとりで抱え込まず、安心して話せる場所につながる大切です。

## 男女共生推進センター みらい相談室

相談専用電話 073-431-5528

相談時間 10:00~12:00

13:00~16:00

(休館日・祝日・休日を除く)

※女性相談員による相談電話です。



## 男性講座

# パパ おじいちゃん クリスマス料理教室



講師：三國 和美さん (NAGA栄養士グループ会長)



男性保護者と子どもと一緒に料理を楽しみながら、家族のふれあいを深めることを目的に開催しました。男性の家事・育児参画のきっかけづくりとして実施し、当日は12組24名が参加しました。

最初は少し緊張した様子も見られましたが、次第に笑顔が広がり、会場は温かな雰囲気になりました。



料理を子どもと一緒に作ることができてとてもよかったです。

トナカイのチョコケーキの作り方がよく分かりました。

## リプロ講座

# 骨盤ヨガでリフレッシュ!

講師：土山 祐加さん (ヨガインストラクター)

例年ご好評をいただいているリプロ講座として、「骨盤ヨガでリフレッシュ!」を開催しました。

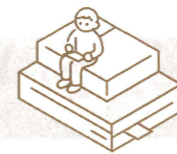
リプロダクティブ・ヘルス/ライツは「性と生殖に関する健康と権利」と訳され、略して「リプロ」と呼ばれています。

今回は骨盤のゆがみに着目し、心身のリフレッシュを目的に実施し、25人が参加しました。



自分に向き合う時間を持って、嬉しかったです。

たっぷりヨガができて、気持ちよくリラックスできました。



## みらい図書館

「みらい図書館 (情報ライブラリー)」では、男女共同参画に関する行政資料の閲覧や、図書の貸出を行っています。また、絵本や児童書、雑誌のバックナンバー (過去1年分) も取り揃えております。

### 新しい本が加まりました

【貸出期間：2週間／一人3冊まで】

#### あの時も「こうあるべき」がしんどかった

著：パレットワーク  
絵：ケイカ (シンコーミュージック)

好きな色も、進む道も、家族のかたちも本来は自由なはず。本書は、無意識の決めつけが誰かの可能性を狭めていないかを考えさせてくれます。身近なエピソードばかりだからこそ胸に刺さる。これを機会に自分の言葉や態度を見つめ直してみましょう。



#### 「女子ボス」のトリセツ

著：川村 佳子 (フォレスト出版)

職場やコミュニティに潜む「女子ボス」の生態と対処法を解説する一冊。嫉妬やマウンティングの背景にある心理をひもときながら、自分を守る具体策を示します。人間関係に疲れた心を軽くする実践的ガイドです。



#### だいじだいじどーこだ

著：遠見 才希子  
絵：川原 端丸 (大泉書店)

「からだのだいじなところってどこかしってる?」という問いから始まる、親子で読みたい絵本。自分のからだは自分だけの大切なものだと、物語を通して自然に学べます。難しく考えがちな性教育の第一歩を、あたたかく後押ししてくれます。



#### 男性学入門 そもそも男って何だっけ?

著：周司 あきら (光文社新書)

なぜ男は泣かないのか、なぜ仕事中心であるべきとされてきたのか。歴史や戦争、家父長制の視点から、つくられてきた「男性像」を解きほぐします。男性の特権と同時に、そのコストや生きづらさにも光を当てます。「男性であること」を多角的に考えるための、知的刺激に満ちた一冊です。



#### カラダは私の何なんだ?

著：王谷 晶 (河出文庫)

足のサイズ、声の高さ、年齢、恋愛、結婚—他人の物差しで測られ続ける違和感を、著者は言葉のパンチで鮮やかに言語化します。痛快でありながら、ときに優しく揺りかごのように包み込む筆致が魅力。誰かの期待に合わせるほど苦しくなる理由が腑に落ち、「自分の身体を自分に取り戻す」感覚をくれます。



#### パンドロぼう

著：柴田 ケイコ (KADOKAWA)

パン屋さんからササッと飛び出すあやしい影。「おれはパンドロぼう!」と名乗る姿に、ページをめくる手が止まりません。ユーモアたっぷりの展開と、表情豊かなイラストが魅力。思わずパンが食べたくなります。最新作「パンドロぼうとスイーツおうじ」までシリーズ7冊が揃っています。





# 男女共生推進センター“みらい”



## 5階

### 研修室 (定員54人)

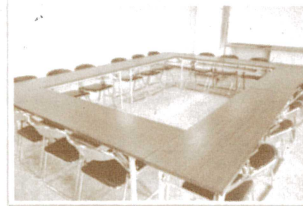


#### 【利用料金】

午前 (9時~12時)	4,190円
午後 (13時~17時)	5,550円
夜間 (18時~21時)	4,190円

- ・各種会議や研修会、合唱の練習等でお使いいただけます。
- ・電子ピアノ (1回 520円)、スクリーン (無料 ※プロジェクターはご持参ください) 利用できます。

### 第1会議室 (定員18人)



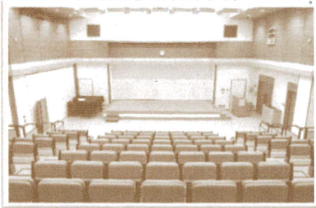
#### 【利用料金】

午前 (9時~12時)	1,460円
午後 (13時~17時)	1,880円
夜間 (18時~21時)	1,460円

## 6階

(客席・舞台あり)

### ホール (定員153人 194.36㎡)



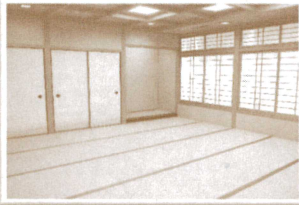
(フラット)

#### 【利用料金】

	ホール	控室
午前 (9時~12時)	6,070円	520円
午後 (13時~17時)	8,060円	620円
夜間 (18時~21時)	6,070円	520円

- ・ピアノや合唱の発表会、練習、ダンスや体操等でお使いいただけます。
- ・ホールご利用の場合に限り、7階の控室のご利用が可能です。
- ・グランドピアノ (1回 3,140円)、スクリーン (無料 ※プロジェクターはご持参ください) 利用できます。

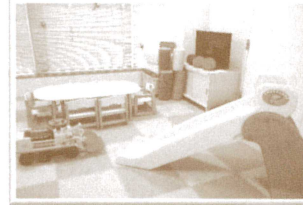
### 和室 (18畳)



#### 【利用料金】

午前 (9時~12時)	2,400円
午後 (13時~17時)	3,140円
夜間 (18時~21時)	2,400円

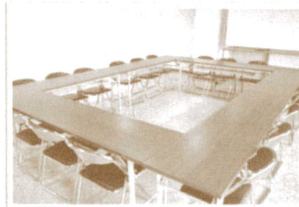
### 子供室



当課主催の講座開催時等における一時保育の場です。また、貸館利用される方のお子さんは、保護者の方と一緒に遊ぶお部屋となっています。  
※子供室だけのご利用はできません。

## 7階

### 第2会議室 (定員18人)



#### 【利用料金】

午前 (9時~12時)	1,460円
午後 (13時~17時)	1,880円
夜間 (18時~21時)	1,460円

男女共生推進センター“みらい”では、各種施設を貸出しています。ぜひ、ご利用ください。



## 和歌山市男女共生推進センター“みらい”

所在地 〒640-8226 和歌山市小人町29番地 (あいあいセンター5~7階)

TEL (073) 436-8704

FAX (073) 432-4704

Eメール danjokyousei@city.wakayama.lg.jp

開館 8:30~21:00

(図書室利用時間は9:00~17:00)

休館日 月曜日、年末年始 (月曜日が祝日・休日と重なる時は、その次の平日)

交通 JR和歌山駅からバス停「市役所前」下車、徒歩5分

南海和歌山市駅から徒歩10分

※地下駐車場は、駐車台数に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください

